

特捜検事を逮捕

最高検 押収資料改ざん容疑

郵便割引制度を悪用した偽の証明書発行事件をめぐり、押収品のフロッピーディスク（FD）のデータを改ざんした疑いが強まったとして、最高検は21日夜、大阪地検特捜部でこの事件の主任検事を務めた前田恒彦容疑者（43）を、証拠隠滅の容疑で逮捕したと発表した。朝日新聞が21日付一部地域の朝刊でこの疑惑を報じたことから、最高検が数人のチームをつくって捜査に乗り出していた。押収資料の改ざんで現職検事が逮捕されるという日本の検察史上前例のない不祥事で、捜査のあり方が根底から問われるのは必至だ。

改ざんされた疑いがあるのは、厚生労働省元局長の村木厚子氏（54）＝一審・無罪判決＝の元部下の上村勉被告（41）＝虚偽有印公文書作成・同行使罪で公判中＝の自宅から昨年5月に押収されたFD。最高検の調べでは、前田検事は昨年7月中旬に大阪府内で、パソコンで専用のソフトを使い、このFDの最終更新日時が「04年6月1日」だったのを「04年6月8日」に改ざんした疑いがある。

朝日新聞が入手した特捜部の捜査報告書などによると、このFDには、自称障害者団体が郵便割引制度の適用を受けるため、上村被告が2004年6月に発行したとされる偽の証明書の作成日時データなどが入っていた。

特捜部は証明書の文書の最終更新日時を「04年6月1日午前1時20分06秒」とする捜査報告書を作成。FDは押収の約2カ月後にあたる7月16日付で上村被告側に返却された。

朝日新聞が今夏、上村被告の弁護団の承諾



10日、村木厚子氏の判決公判のため、大阪地裁に入る大阪地検特捜部の前田恒彦・主任検事。矢木隆晴撮影

を得てFDの記録を確認したところ、最終更新日時が「04年6月8日午後9時10分56秒」になっていた。このため、朝日新聞が大手情報セキュリティ会社（東京）にFDの解析を依頼。本来は「6月1日」であるべき最終更新日時が「6月8日」と書き換えられていた。

特捜部は捜査過程で、上村被告の供述などを根拠に「村木氏から上村被告への証明書発行の指示は6月上旬」とみていた。だが、証明書のデータが入ったFD内の最終更新日時が6月1日未明だったことから、村木氏の指示が5月31日以前でなければ捜査の見立てに合わない状況だった。

最高検は21日夜、村木元局長について大阪地検が控訴せず、無罪判決を確定させることも明らかにした。